



令和7年度 気候変動 アクション 環境大臣表彰

応募申請にあたっての手引き

令和7年度気候変動アクション環境大臣表彰運営事務局

東武トップツアーズ株式会社

応募申請について



1. 応募申請方法について

- (1) 「気候変動アクション環境大臣表彰」ホームページの「令和7年度応募概要」をご確認の上、「WEBから応募する」ボタンを押して、応募登録フォームにてご登録をいただき、応募ページにログインして申請内容をご記入ください。
- (2) 必要事項をすべてご入力の上、「送信」ボタンを押してください。
応募フォームへの記入中に、ブラウザを閉じたり、ページを離脱した場合でも、記入内容は自動的に保存されますので、次回、同じフォームを開くと、保存された記入内容が復元され、途中から記入作業を再開できます。

フォーム送信時に保存されたデータは削除されますので、記入内容を修正したい場合は、事務局までご連絡お願い致します。

7月31日（木）17:00までは何度でも修正が可能です。

※応募ページ記入方法につきましては、3～12ページを必ずご確認ください。

2. お問い合わせについて

令和7年度気候変動アクション環境大臣表彰 運営事務局

東武トップツアーズ株式会社 官公庁事業部内
(環境省請負事業受託者)
北垣戸・井上・福原
〒108-0075 東京都港区港南1-8-15 Wビル18F※対応時間：10～17時（土・日・祝日を除く・12/29～1/3を除く）
TEL：050-9014-8585Mail：
kankyoaward2025@tobutoptours.co.jp

3. 提出締切について

令和7年7月31日（木）17：00までとなります。

※必ず、この時間までに申請内容に修正が無いようにしてください。

※応募フォームより申請後、**受領確認メールが送信**されますので、メールが届かない場合は事務局までご連絡お願い致します。



応募ページの記入について

令和7年度気候変動アクション環境大臣表彰 応募登録フォーム

令和7年度気候変動アクション環境大臣表彰実施要領及び応募申請にあたっての手引きを必ずご確認ください。

応募ご担当者 **必須**

事務局よりご連絡させていただき方のご担当者様のご氏名をご記入ください

姓

山田

【担当者情報について】

応募に関して、**事務局よりお問い合わせする連絡先**として、下記をご記入ください。

1. ご担当者様 所属・氏名
2. 電話番号
3. メールアドレス

ご所属 **必須**

ご連絡先電話番号 **必須**

事務局よりご連絡させていただき際のお電話番号をご記入ください

09012345678

文字数 20文字以内

現在の文字数 0

ご連絡先メールアドレス **必須**

事務局よりご連絡させていただきメールアドレスをご記入ください

mail@example.com

確認のため再度ご入力ください

mail@example.com

本応募フォームを送信後の返信メールはこちらのメールアドレスに送信されます。

住所 **必須**

郵便番号

都道府県

選択してください

～中略～

記載内容に関するお問い合わせ先

※応募ご担当者と異なる場合のみご記入ください。

所属 **任意**

氏名 **任意**

姓

山田

名

太郎

電話番号 **任意**

09012345678

文字数 20文字以内

現在の文字数 0

メールアドレス **任意**

mail@example.com

応募ページの記入について

個人・団体かを選択してください **必須**

☐ 個人

☐ 団体

自薦・他薦かを選択してください **必須**

☐ 自薦

☐ 他薦

1. 応募部門・分野

1-01.部門・分野名 **必須**

活動の軸となっているところと一番近い部門・分野を選択してください。1つの活動について

1部門のみの応募申請となります。

※ 応募申請にあつての手引き

【1-01部門名】

・活動の軸となっているところと一番近い部門を選択してください。
1つの活動について1部門のみの応募申請となります。
※ P13～の“応募部門／分野選択チャート”もご参考にしてください。

☐ ①開発・製品化部門

☐ ①開発・製品化部門（過心分野）

☐ ①開発・製品化部門（緩和・適応分野）

☐ ②先進導入・積極実践部門（緩和分野）

☐ ②先進導入・積極実践部門（適応分野）

☐ ②先進導入・積極実践部門（緩和・適応分野）

☐ ③普及・促進部門（緩和分野）

☐ ③普及・促進部門（適応分野）

☐ ③普及・促進部門（緩和・適応分野）

2. 推薦者について（他薦の場合のみご記入ください）

2-01 推薦者の団体名 **任意**

他薦の場合は必須。

【推薦者について】

他薦の場合のみご記入ください。（自薦の場合は記入不要です。）

2-02 推薦者の代表者氏名 **任意**

他薦の場合は必須。

姓

名

山田

太郎

2-03 推薦理由 **任意**

他薦の場合は必須。

応募ページの記入について

3. 活動主体の概要

3-01 活動の名称 **必須**

【3-01活動の名称】

応募する活動概要・事業概要を表すタイトルです。35文字以内で端的にご記入ください。
過去に地球温暖化防止に関する環境大臣表彰を受賞した取組みと、同一の活動あるいは功績での応募はできません。判断が難しいようでしたら、取組みの内容を精査できる資料をお送りくだされば、検討いたします。

※国の委託事業（競争的資金を含む。）として実施中の活動での応募はできません

※普及・促進部門に関しては、概ね3年以上の継続した活動実績を有している必要があります

3-02 個人・団体名 **必須**

【3-02 個人・団体名】

活動主体が複数の場合は列記のうえ、代表となる団体名・グループの冒頭に◎印をつけてください。

※応募活動が、補助金又は委託費（競争的資金を含む。）による財政的支援等を複数団体で共同で受けたものである場合は、当該複数団体による共同応募申請としてください

3-03 代表者名 **必須**

個人の場合は3-02と同内容でご記入ください。

3-04 個人・団体住所 **必須**

郵便番号

都道府県

選択してください



市区町村

番地

建物名・部屋番号

3-05 インターネット情報 **任意**

ウェブサイトやSNSでの活動等が紹介されているものがあれば、URLをご記入ください。該当の情報が無い場合は、その旨ご記入ください。

応募ページの記入について



4. 活動主体の事業または活動の概要

参考資料を添付する場合は【7-01 参考資料】
に記載の注意事項にご留意ください

4-01 事業または活動の概要 **必須**

この欄には応募活動の概要ではなく個人・団体の活動概要をご記入ください。

4-02 応募活動のこれまでの応募歴 **必須**

過去に応募と同一の活動により気候変動アクション環境大臣表彰又は地球温暖化防止活動に関する環境大臣表彰に応募されたことがある場合は、応募時期・更新の有無・更新内容等をご記入ください。

4-03 応募活動のこれまでの受賞歴 **必須**

過去に応募と同一の活動で他の表彰を受賞表彰されたことがある場合は、表彰主体・内容・時期等をご記入ください。

※過去に応募と同一の活動により気候変動アクション環境大臣表彰又は地球温暖化防止活動に関する環境大臣表彰を受賞したことがある場合は、その活動での応募はできません。



応募ページの記入について

5. 応募活動の概要

5-01 分野選択理由（応募活動と関連させて記載） **必須**

分野選択理由を応募活動と絡めて50文字以内で簡潔にご記入ください。

選考は申請書をもとに実施しますので、参考資料やURLの参照が中心となる表現はお控えください

分野選択理由を、下記の例を参考に応募活動と絡めて簡潔にご記入ください。

【記入例】

- 開発・製品化／緩和
～のエネルギー消費を抑制する技術を開発し、その製品化を進めることでCO2削減を実現
- 開発・製品化／適応
熱中症が増加していることから、～を開発し、熱中症を予防することに貢献
- 先進導入・積極実践／緩和
拠点となる事業所に～設備を導入し／脱炭素経営のための～プログラムを実践し、事業活動に伴うCO2を削減
- 先進導入・積極実践／適応
～設備を導入し／～プログラムを実践し、地域コミュニティの連携を強化しながら洪水被害を軽減
- 普及・促進／緩和
広く～に～活動を呼びかけ、ライフスタイルの転換を進めることでCO2を削減
- 普及・促進／適応
～と連携して、～の機会を活用し、気候変動影響及び適応策について考えるWSを実施

5-02 応募活動の背景と目的 **必須**

○応募活動の背景と目的をご記入ください。

○気候変動対策の観点から応募活動の特色をできるだけ明確にご記入ください（令和7年度気候変動アクション環境大臣表彰実施要領「選考基準等」に記載している観点を参考に特色をご記入ください）。特に、世間一般で同様の活動がある場合は相違点を明確してください。

○要点がわかりやすくなるよう、箇条書きにする等して具体的かつ簡潔にご記入ください。

※選考は申請書をもとに実施しますので、参考資料やURLの参照が中心となる表現はお控えください。

※参考資料を添付する場合は「7-01 参考資料」をご参照ください。

令和7年度気候変動アクション環境大臣表彰実施要領「選考基準等」に記載している観点を参考に特色をご記入ください。

文字数 500文字以内

現在の文字数 0

応募ページの記入について

5-03 応募活動の内容・アプローチ（手法） 必須

応募活動の内容・アプローチ（手法）を、下記の視点で具体的かつ簡潔にご記入ください。
複数の活動主体による応募の場合、それぞれが果たした役割について、活動の内容がわかるようにご記入ください。

開発・製品化 部門	（緩和分野） 国内外の温室効果ガスの排出を低減する優れた技術の開発により、その製品化を進めたことに関する功績を、客観的な視点でご記入ください。
	（適応分野） 気候変動の影響による国内外の被害を回避・軽減するため又は気候変動による好影響を活用するための優れた技術の開発等により、その製品化又は技術を活用したサービスの提供等を進めたことに関する功績を、客観的な視点でご記入ください。
先進導入・ 積極実践 部門	（緩和分野） 国内外やバリューチェーン全体での温室効果ガスの排出を低減する技術や製品、企業戦略の大規模導入・先進的導入及び積極的な活用、地球温暖化防止に資するライフスタイル等の積極的な実践等に関する功績を、客観的な視点でご記入ください。
	（適応分野） 気候変動の影響による国内外の被害を回避・軽減又は気候変動による好影響を活用するための優れた適応策の先進的導入及び積極的な実践、企業や地域等の気候変動への強靱性や持続可能性の向上を目的とした気候変動リスク分析及び適応策の導入における積極的かつ先進的な取組に関する功績を客観的な視点でご記入ください。
普及・促進 部門	（緩和分野・適応分野共通） 普及・促進活動や、教育・普及・啓発・持続可能な未来に向けた価値観、行動、ライフスタイルの変容等継続的な取組に関する功績を客観的な視点でご記入ください。

応募ページの記入について

5-04 助成団体の名称、補助金等の名称（応募活動に対する財政的支援等）

【記入例】

助成団体の名称：環境省

補助金等の名称：二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金（〇〇事業）

助成総額：35000（千円）

助成期間：2021年4月1日～2024年3月31日

助成等の概要：□□設備導入に係る補助

補助率：1／2

※応募活動が、財政的支援等を複数団体で共同で受けたものである場合は、当該複数団体による共同応募申請としていただく必要があります

※国の委託事業（競争的資金を含む。）として実施中の活動での応募はできません

5-04-1 助成団体の名称 任意

※該当する場合は必須

5-04-2 補助金等の名称 任意

※該当する場合は必須

5-05 助成総額 任意

※該当する場合は必須。

半角でご記入ください（例:35000）(千円)

5-06 助成期間

5-06-1 助成開始日 任意

※該当する場合は必須。

2000	▼	年	--	▼	月	--	▼	日
------	---	---	----	---	---	----	---	---

5-06-2 助成終了日 任意

※該当する場合は必須。

2000	▼	年	--	▼	月	--	▼	日
------	---	---	----	---	---	----	---	---

5-07 助成等の概要 任意

※該当する場合は必須。

5-08 補助率 任意

※該当する場合は必須。

補助金等の補助率をご記入ください。

応募ページの記入について

5-09 応募活動の実施期間

5-09-1 実施開始日 **任意**

※該当する場合は必須

2000 ▼ 年 -- ▼ 月 -- ▼ 日

5-09-2 実施終了日 **任意**

※該当する場合は必須

2000 ▼ 年 -- ▼ 月 -- ▼ 日

5-10 個人・団体の実施期間

5-10-1 実施開始日 **任意**

※該当する場合は必須

2000 ▼ 年 -- ▼ 月 -- ▼ 日

5-10-2 実施終了日 **任意**

※該当する場合は必須

2000 ▼ 年 -- ▼ 月 -- ▼ 日

5-11 応募活動の気候変動対策としての貢献度 **必須**

応募活動が、開発・製品化／先進導入・実践／普及啓発によってどれだけの効果・メリットがあるのかを、気候変動対策の取組が主体であることが分かるように具体的なバックデータ（客観的な論拠・根拠・数値等）を用いて簡潔にご記入ください。

※気候変動対策の取組が主体であることが分かるようにご記入ください。

5-12 応募活動により期待される波及効果 **必須**

市場への展開やライフスタイルの変革など脱炭素社会実現に向けて地域や社会に対してどのような効果が期待でき、また、今後の展開で期待される効果等について具体的かつ簡潔にご記入ください。

5-13 応募活動における刷新的要素 **必須**

これまでにない新しい技術や取組、アプローチなど持続可能な未来に向けた刷新的要素がある場合は、その内容を具体的かつ簡潔にご記入ください。

応募ページの記入について

5-14 応募活動の今後の計画、持続的な展開の展望 **必須**

これまでの活動内容を踏まえ、活動がいかに持続的に実施可能か、その計画について具体的かつ簡潔にご記入ください。

部門別の選考の観点（評価記入にあたっての記入例）

対象部門	観点
開発・製品化部門	（緩和分野） この技術の開発によって製造されるプロセスにおいて、又は生み出された製品により、CO ₂ 等の温室効果ガスが従来の技術・製品に比してどれだけ削減されるか。
	例：従来機器比○%使用電力削減、CO ₂ を年間△ト削減
	（適応分野） この技術の開発によって生み出された製品により、気候変動によるリスクが従来の技術・製品に比してどれだけ削減されるか。 例：気候変動リスクの被害額○円低減、暑さ指数(WBGT)○℃低減
先進導入・積極実践部門	（緩和分野） 対策技術や企業戦略の先進的な導入等によって、導入から、いままでに温室効果ガスがどれだけ削減できたか。導入した技術・設備・企業戦略等をどのように活用実践してきたか。 例：CO ₂ 排出量○%削減、CO ₂ を年間△ト削減
	（適応分野） 適応技術や企業戦略の先進的な導入等によって、導入から、いままでに気候変動によるリスクがどれだけ削減できたか。導入した技術・設備・企業戦略等をどのように活用実践してきたか。 例：気候変動リスクの被害額○円低減 例：気候変動を踏まえた安定的な原材料ルート○%確保
	（緩和分野） 具体的にどのような人たちに何年間、どのような活動内容を行い、どのような効果があったか。今後どのように活動を展開する予定か。 社会に対してどのような効果が期待でき、どのような方法で地域に貢献したか。また、その実績はどの程度か。 例：△年にわたって、延べ○人が活動に参加し、△%の節電効果があり、×kgのCO ₂ 削減 例：学校周辺地域の○○などの主体と連携し、△回の地域の指導者育成を行い、持続可能な仕組みをつくった。
普及・促進部門	（適応分野） 具体的にどのような人たちに何年間、どのような活動内容を行い、どのような効果があったか。今後どのように活動を展開する予定か。 社会に対してどのような効果が期待でき、どのような方法で地域等に貢献したか。その実績はどの程度か。また、気候変動の影響をどのように把握し、活動に生かしているのか。 例：学校周辺地域の○○などの主体と連携し、△回の地域の指導者育成を行い、持続可能な仕組みをつくった。

応募ページの記入について

6. その他

6-01 本表彰の公募をお知りになった媒体 **必須**

☐ ウェブサイト（サイト名を下欄にご記入ください）

☐ 自治体からの紹介・推薦

☐ 関係企業からの紹介

☐ 事務局からのチラシ

☐ 事務局からのメール

☐ メールマガジン（配信元を下欄にご記入ください）

☐ 新聞・雑誌等（新聞・雑誌名を下欄にご記入ください）

☐ その他

ウェブサイト名 **任意**

メールマガジンの配信元 **任意**

新聞・雑誌名 **任意**

6-02 備考 **任意**

申請書について補足などありましたらご記入ください。

7. 参考資料

7-01 参考資料（アップロード） **任意**

※選考は申請書を基に実施することから、参考資料は補足資料の位置づけとなりますので、応募活動の内容、貢献度、効果等の基本的な内容は申請書内にご記入ください

※参考資料を添付する場合は、申請書内に参照ページ番号もご記入ください
【記入例】～技術の開発による削減効果の詳細は参考資料P.5①を参照

※ファイル名は内容が一目でわかる名称としてください。
【記入例】～技術開発による削減効果詳細.pdf

※データ形式はzipファイルのみです。100MBを超えるデータは添付できませんので、超過の場合は事務局までご相談ください

※データを修正したい場合は、事務局宛てにメールにて再提出をお願いします

秘密保持に関する同意書 **必須**

秘密保持に関する同意書

「令和7年度気候変動アクション環境大臣表彰」事業に応募するにあたり、以下の条項を遵守することに同意する。

第1条（秘密情報）

「秘密情報」とは、「令和7年度気候変動アクション環境大臣表彰」（以下「本表彰」とい

☐ 同意する

☆令和7年度気候変動アクション環境大臣表彰 応募部門／分野選択チャート～はじめに～

目的：気候変動の緩和及び気候変動への適応に関し顕著な功績のあった個人又は団体（自治体、企業、NPO/NGO、学校等。共同実施も含む。）に対し、その功績をたたえるため、表彰を行う。

CO2など温室効果ガス排出削減や吸収等を目的にした活動を含むか

気候変動による影響に対処しようとする活動であるか

取り組み例：

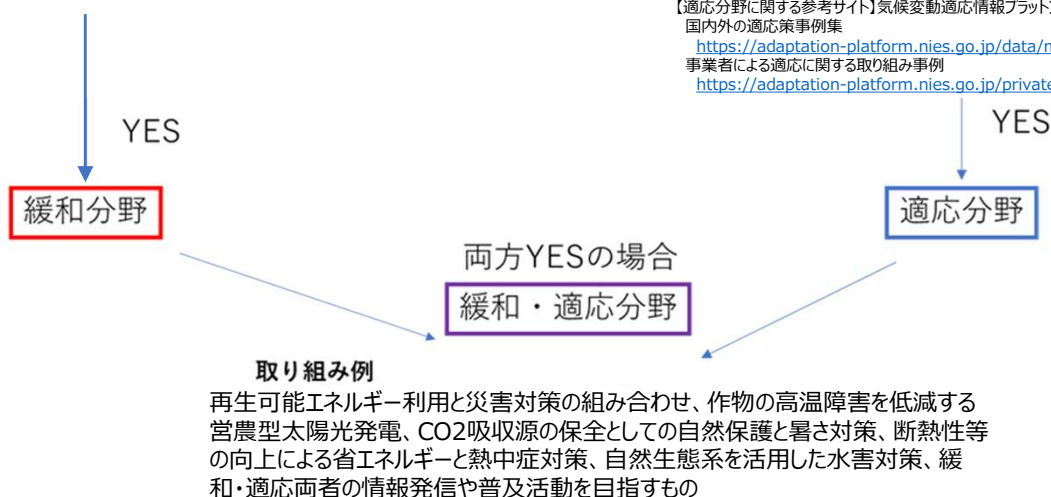
省エネルギーに関する活動、再生可能エネルギー開発や利用導入、温室効果ガス発生量削減技術、バリューチェーン全体での排出削減に資する仕組み・経営戦略、森林などによるCO2吸収、貯留、利用に関するもの

取り組み例：

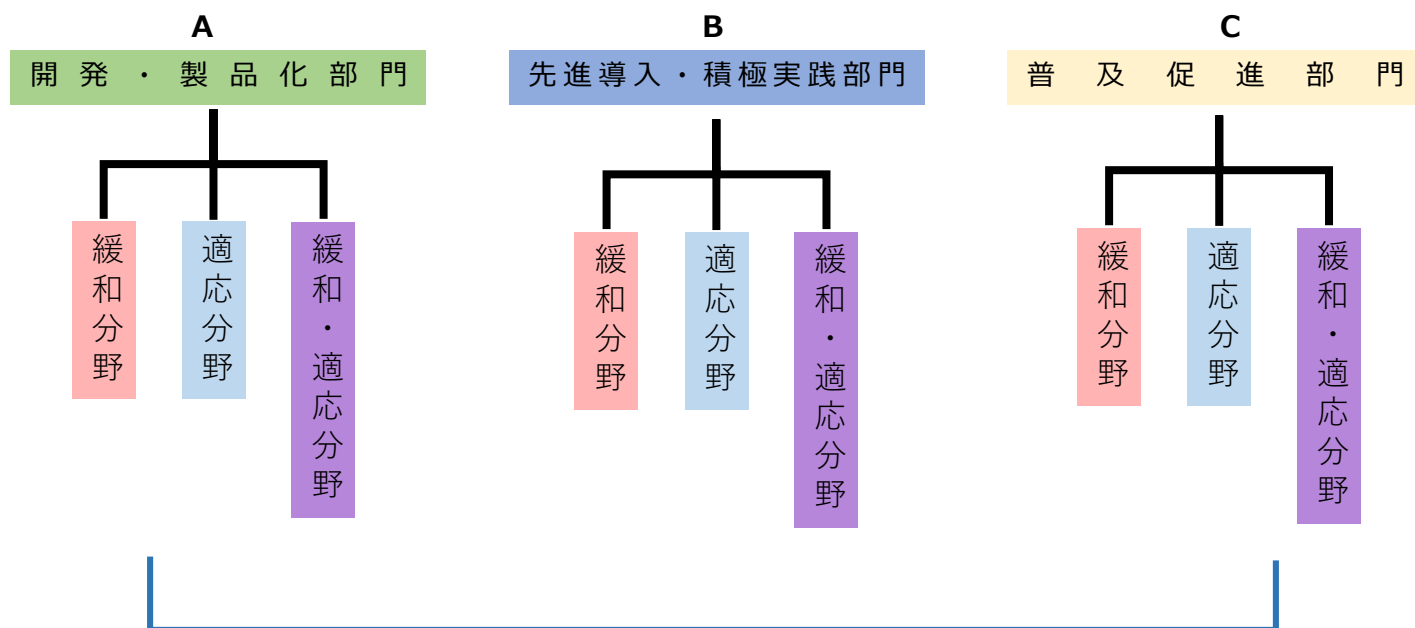
豪雨や強風、土砂災害などの気象災害への対応、高温に強い栽培方法や品種の開発、未利用魚の活用など農林水産業における取組、や自然生態系への影響対策、海面上昇・砂浜の減少への対応、熱中症対策、祭りやレジャーなど文化観光活動への影響対策、各種産業やサプライチェーンなどへのリスク対策、気候変動を機会と捉えた商品・サービスの開発 など

【適応分野に関する参考サイト】気候変動適応情報プラットフォーム（A-PLAT）
国内外の適応事例集

<https://adaptation-platform.nies.go.jp/data/measures/index.html#everything>
事業者による適応に関する取り組み事例
https://adaptation-platform.nies.go.jp/private_sector/index.html#section01



☆令和7年度気候変動アクション環境大臣表彰 応募部門／分野選択チャート ～部門と分野～



気候変動アクション環境大臣表彰選考委員会による審査

☆令和7年度気候変動アクション環境大臣表彰応募部門／分野選択チャート①

このチャートは応募部門選択の際の参考です。必ずしもこの結果通りに応募しなければいけないというものではありません。

A.今までにない技術の開発に取り組んでおり、一定の効果が期待できることが分かった。
(既に製品化を進めている)



開発・製品化部門

→応募部門／分野選択チャート②のAへ

B.先進的技術（仕組み）を取り入れ実績を積んで効果を出している。
既存の技術（仕組み）を応用／改善して、効果を得られる新たな手法や取り組みを積極的に行っている。



先進導入・積極実践部門

→応募部門／分野選択チャート②のBへ

※設備（ハード）・仕組みの導入よりも導入を通じた普及啓発（ソフト）が中心である場合はチャート②のCへ

C.様々な主体を巻き込み未来に向けた価値観、行動、ライフスタイルの変容に寄与する情報収集、発信を継続的に実施している。



普及促進部門

→応募部門／分野選択チャート②のCへ

※普及啓発（ソフト）よりも設備（ハード）・仕組みの導入が中心である場合はチャート②のBへ

☆令和7年度気候変動アクション環境大臣表彰応募部門／分野選択チャート②

このチャートは応募部門選択の際の参考です。必ずしもこの結果通りに応募しなければいけないというものではありません。

各部門の過去の受賞例は下記をご参照ください。

https://www.env.go.jp/earth/ondanka/min_action_award/winners_r06.html

A 開発・製品化部門

I.緩和分野

開発した技術は温室効果ガス排出低減に直結する。

II.適応分野

気候変動による影響を防止、軽減させる技術／製品、仕組みの開発をしている。

III.緩和・適応分野

温室効果ガス削減に寄与するとともに、気候変動の影響の防止、軽減にも資する技術を開発した。

C 普及促進部門

I.緩和分野

地球温暖化防止や節電に関する普及・促進活動、植林活動など気候変動を防止する活動を継続的に実施している。

II.適応分野

気候変動による影響等の情報を収集・発信し、各分野での気候変動に適応するための教育・啓発・行動変容を促す取り組みを継続して行っている。

III.緩和・適応分野

地球温暖化防止に資する具体的な普及促進活動の実施且つ、気候変動への適応に関する情報発信、普及啓発により持続可能な未来に向けた価値観、行動変容を促す活動を継続して実施している。

B 先進導入・積極実践部門

I.緩和分野

技術や仕組みの先進導入の結果、温室効果ガスの排出を低減させることができた。

II.適応分野

気候変動による影響を防止、軽減させる技術や手法、仕組みを導入して事業や活動を行っている。

III.緩和・適応分野

温室効果ガス削減に寄与する技術や仕組みを形にし、気候変動の影響の防止、軽減の実績がある。